

# 令和5年度 第2回総合計画進行管理会議次第

令和5年7月12日(水)午前10時00分  
和泉市役所 庁議室

## 1. 第1回進行管理会議のおさらい

- 1) 第1回進行管理会議のおさらい……………資料1
- 2) 人口ビジョン(改訂版)における推計期間について……………資料2

## 2. 意見交換

- 1) 第6次総合計画・次期和泉創発プランの策定について……………資料3
  - ア) 第6次総合計画の構成
  - イ) 次期和泉創発プランとのすみ分け
  - ウ) 総合計画と和泉創発プランの計画期間について
  - エ) 和泉創発プランの計画期間の延長について
  - オ) 次期和泉創発プランの策定作業について
- 2) 各機関の役割について……………資料4
- 3) 第6次総合計画作成に向けた外部意見の聴取について……………資料5

## 第 1 回進行管理会議のおさらい

### ○第 1 回第 5 次総合計画進行管理会議の内容(議事録参照)

- ・今年度の開催内容・スケジュールの共有
- ・次期総合計画の意見交換
  - 1)策定スケジュール(案)について
  - 2)人口ビジョンについて
  - 3)市民意見の聴取方法について

### ○意見交換の内容

※別紙 1

### ○第 2 回会議に向けての宿題

ア)審議会、策定委員会、議会の役割について明確にし、進行管理会議において、認識の共有を行う。

⇒ 第 5 次総合計画の外部意見聴取と合わせて、会議後半で説明

イ)市制 100 周年を見据えた人口推計をたてるのか、第 1 回会議の意見を踏まえ、事務局案を整理する。

⇒ 資料 2

### ○補足

次回、8 月に予定している第 3 回の進行管理会議では、第 1 回及び第 2 回の会議を受け、第 3 回定例会総務企画委員会協議会に報告する内容について確認いただく予定(イメージとしては、第 1 回・第 2 回の資料を概要化する予定)。

前回会議の内容

事務局案

現ビジョンの推計期間

25年間

H28(2016) - R22(2040)

市制施行 100 周年 (2056)  
を見据える

次期ビジョンの案

37年間

R6(2024) - R42(2060)

委員意見

長すぎる (25年で十分)

推計期間が長いほど、現実の動きと乖離するリスクが上がる。

適当 (37年でもよい)

市制 100 周年を見据えた観点も必要ではないか。

01 国等の人口推計の設定期間

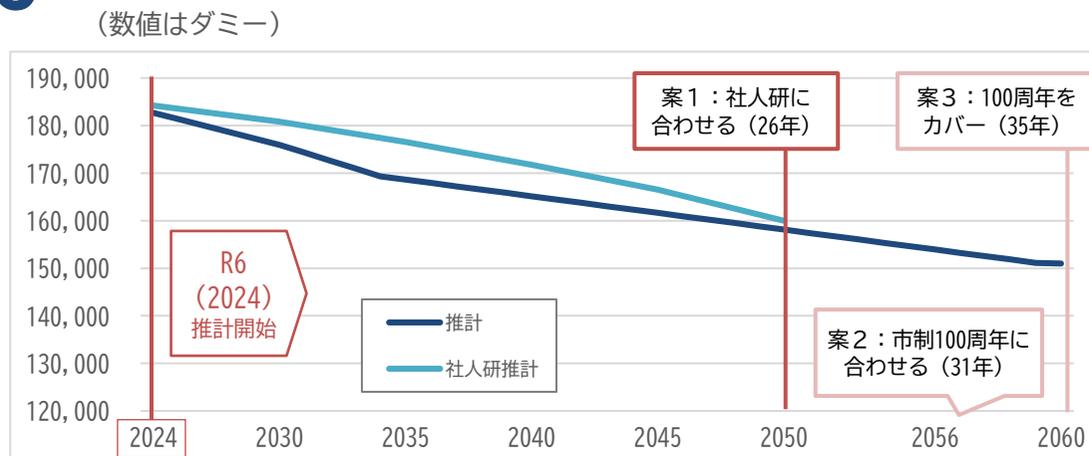
国	社人研推計	日本の将来推計人口 (全国版) 50 年
		同上 (市町村版) 30 年
地方	内閣府	まち・ひと・しごと創生長期ビジョン 150 年
	大阪府	人口ビジョン (2015-2040) 25 年
	他市町村 (大阪府内)	2040 年までとしている例が多い

02 社人研推計の推計期間

- 社人研は国勢調査ごとに推計を作成
- 現ビジョン策定時(H28)の最新版  
時 期 H25.3 推計  
推計期間 H22(2010) - H52(2040)

R5 に公表される次期推計では、2050 年までが示される見込み

03 人口ビジョン（改訂版）における推計期間の設定



案1  
現ビジョンを踏襲

※社人研推計の終期が公表されれば、それに合わせて推計期間も前後させる予定

## 第6次総合計画・次期和泉創発プランの策定について

## ア) 第6次総合計画の構成

総合計画については、「計画の背景」のほか、大きな方向性を整理する「基本構想」と、それを実現させるための「基本計画」で構成されるが、第6次総合計画については、「基本構想」のみの作成とし、「基本計画」については、次期和泉創発プランや各種個別計画が担うこととする。

## ⇒ 見直しの考え方

和泉市の行財政運営等の計画である、「和泉躍進プラン」、「和泉創発プラン」では、「まちづくり」に係る重点取り組み事項に加え、「財政健全化」、「組織・人づくり」に係る内容を整理してきており、総合計画の重点施策と重複感がある。

については、第6次総合計画からは、「基本計画」部分について、財政収支見通し等とセットにした次期和泉創発プランが担うことで、重複感を解消し、まちづくりの取り組みを推進したい。

## 第5次総合計画の構成

基本構想	1	計画の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とりまく時代の潮流</li> <li>・市民の意識</li> <li>・産業構造の現状等</li> <li>・人口推計</li> <li>・和泉市が持つ優位性</li> </ul>
	2	まちづくりの基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方</li> <li>・まちづくりの視点</li> <li>・土地利用構想</li> </ul>
	3	将来都市像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来都市像</li> <li>・まちづくりの目標</li> </ul>
基本計画	4	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住の促進</li> <li>・にぎわいの促進</li> <li>・安全・安心の促進</li> <li>・支え合い・協働の促進</li> <li>・都市経営の促進</li> </ul>

第5次総合計画の構成に係る、「1 計画の背景」、「2 まちづくりの基本方針」、「3 将来都市像」を第6次総合計画で定め、「4 重点施策」は次期和泉創発プランや各種個別計画が担う。

イ) 次期和泉創発プランとのすみ分け

第6次総合計画では、「まちづくりの基本方針等」を定め、たうえて、「まちづくりの目標」を設定し、次期和泉創発プランにおいて、「具体の取組み」を進める。

第5次総合計画からのイメージ

総合計画		次期和泉創発プラン	
まちづくりの基本方針等	まちづくりの目標	項目	具体の取組み
人口推計 まちづくりの視点 土地利用構想 将来都市像	こどもたちの笑顔があふれ、健康で文化的な、ひとにやさしいまち	定住の促進	こども医療費の拡充 学力向上に係る取組み 生涯学習に係る取組み 多様な公園整備の推進 道路交通網の整備 等
	まちの個性を伸ばし、新たな魅力と賑わいが創出されるまち	にぎわいの促進	技術・商品開発支援 6次産業化の促進 地域就労の支援 等
	安らぎを感じながら生活を送ることができる、安心を実感できるまち	安全・安心の促進	救急医療体制の充実 生活支援体制の充実 防犯意識の醸成 等
	世代・地域を超えて、様々な交流が生まれるまち	支えあい・協働の促進	市民交流の促進 地域の見守り体制の充実 多文化共生の推進 等
	豊かなまちの資源を次世代に引き継ぐことができる仕組みづくり	都市経営の促進	資産保有の最適化 健全財政の確保 組織づくりの推進 等

⇒ 補足

上記図の黄色部分が総合計画、白色部分が次期和泉創発プランになる。  
各種個別計画については、総合計画において一覧化することで、「まちづくりの目標」と各種個別計画の関係性が分かる構成とする。

【参考：他市の策定状況（大阪府下 33 市）】

策定していない	大阪市、箕面市
基本構想のみ	大東市
基本計画のみ	堺市
基本構想、基本計画両方で策定	和泉市、岸和田市、豊中市、他 26 市

和泉市は第6次総合計画から「基本構想」のみの作成へと方針転換するが、「基本計画」は次期和泉創発プランが担うため、財政収支をしっかりと見通した「具体の取組み」を進めることが可能となる。

ウ) 総合計画と和泉創発プランの計画期間について

	現在		次期計画
和泉創発プラン	5年間	⇒	4年間
総合計画	10年間	⇒	8年間
	※5年で中間見直し		※中間見直ししない

⇒ 見直しの考え方

和泉創発プランについては計画期間を5年間としてきたが、市長公約を盛り込んだ上でまちづくりの取組を記載することを勘案し、次期和泉創発プランから、市長任期と合わせた4年間とする（財政収支計画についてはこれまでどおり決算時点から10年後まで作成予定）。

このことを受け、総合計画の計画期間については10年間で5年後に見直しを行っていたが、基本計画である次期和泉創発プランに合わせて8年間とし、中間見直しを行わないものとする（時代のニーズに応じた具体的な取組みをより迅速に進めることも可能となる）。

第6次総合計画と次期和泉創発プランの計画期間のイメージ

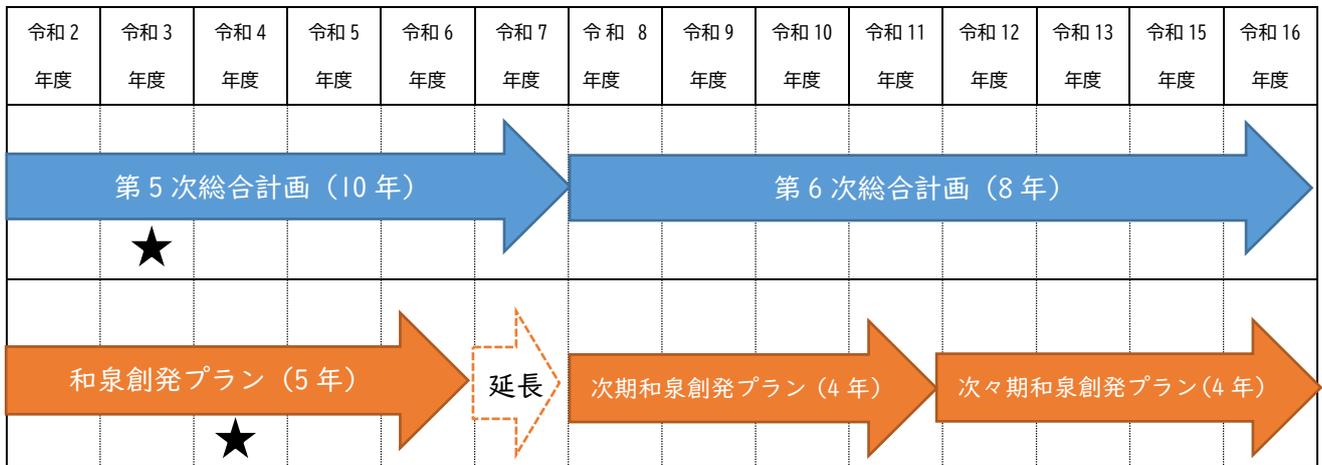
第6次総合計画							
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
次期和泉創発プラン				次々期和泉創発プラン			

工) 和泉創発プランの計画期間の延長について

第5次総合計画の計画期間は、平成28年度から令和7年度となっており、現在の和泉創発プランの計画期間は、令和2年度から令和6年度となっていることから、現和泉創発プランを1年延長する。

⇒ 延長の考え方

第6次総合計画と次期和泉創発プランを一体的に進めるため、双方の始期を揃える。

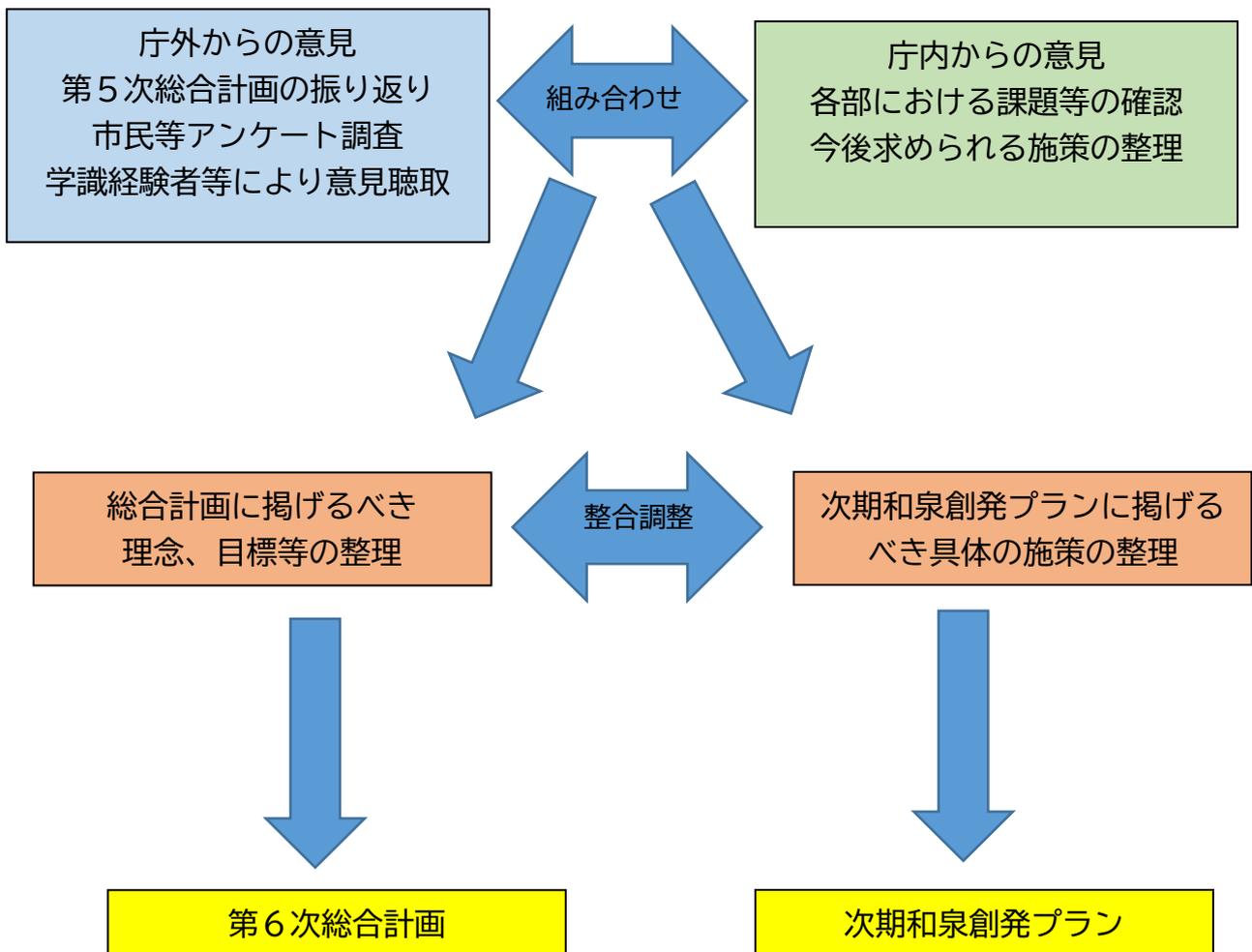


★・・・改訂

オ) 策定作業について

第6次総合計画と次期和泉創発プランを並行して作成する。

⇒ 総合計画の策定は、基本構想にとどめるが、基本計画を担う次期和泉創発プランは、並行して策定作業を進めるため、実質的には、これまでの総合計画の策定と同様の作業ボリュームになることを想定（総計と創発をセットで策定するイメージ）。



※次期総合戦略についても合わせて検討していく。

## 各機関の役割について

(趣旨)

令和5年度第1回第5次総合計画進行管理会議において、第6次総合計画策定における各機関の役割について疑義が生じたため、役割について明確に示し、認識の共有を行うもの。

**第5次総合計画進行管理会議（第5次和泉市総合計画等進行管理要綱）**

第5次和泉市総合計画及び和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効率的かつ効果的な進行管理を行う。

- (1) 計画等の進行管理に関すること。
- (2) 事前評価及び事後評価の検証に関すること。
- (3) 計画等に係る関係所属の意見及び事業の調整に関すること。
- (4) 計画等の内部評価及び外部評価対象事業の選定に関すること。
- (5) 計画等に係る政策提言に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、計画等の進行管理に係る特命事項への参画及び調整に関すること。

※両副市長、教育長、参与及び関係部長で構成

**和泉市総合計画審議会（和泉市総合計画審議会規則）**

審議会は、市長の諮問に応じて、和泉市総合計画その他の市政全般にわたる総合的な計画に関する事項について調査及び審議する。

※21人以内で構成

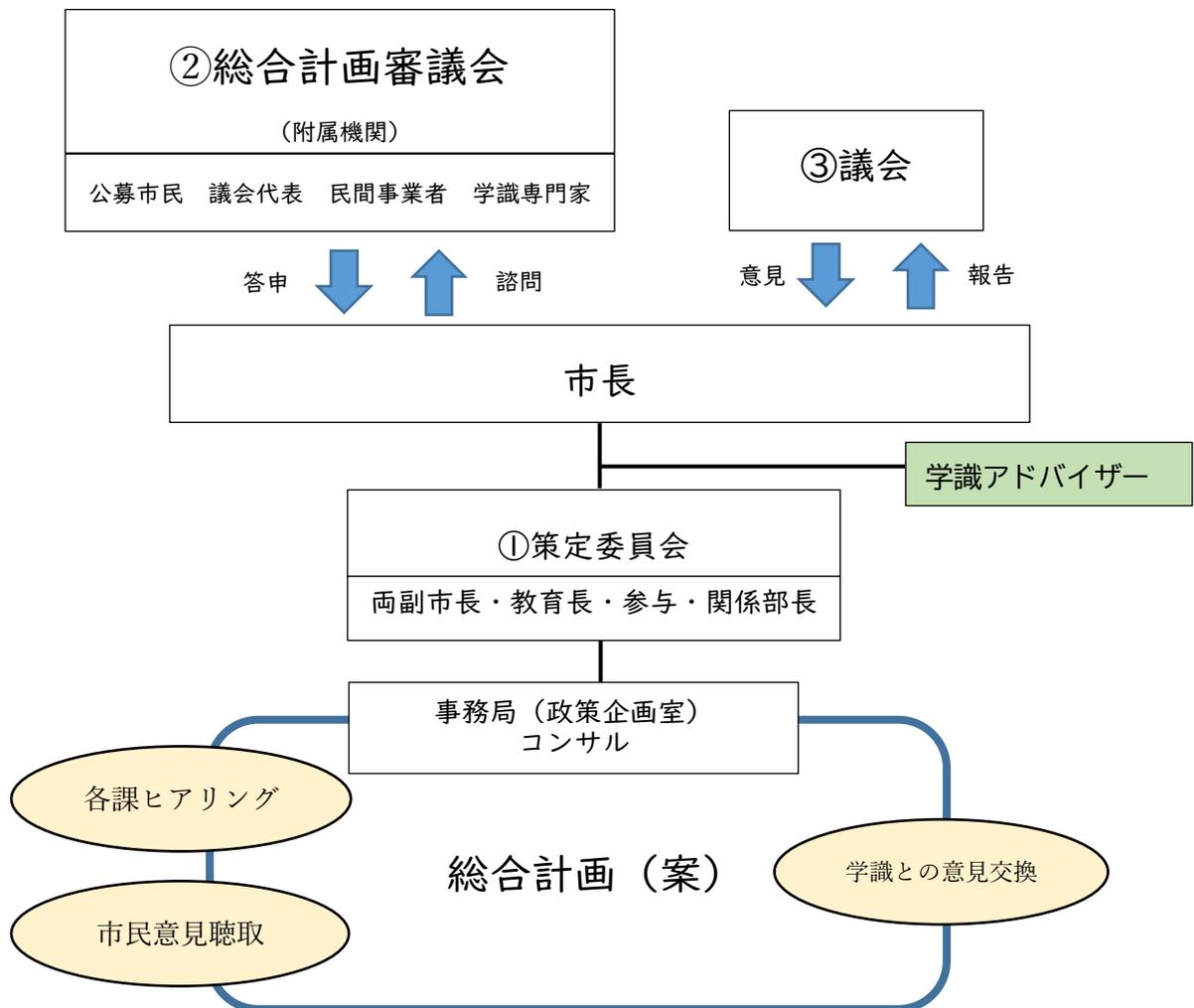
(前回の構成 市議会議員(5人)、関係団体の代表者(10人)、学識経験者(3人)、公募市民(3人))

**(仮称)第6次総合計画及び次期和泉創発プラン策定委員会**

令和5年第3回定例会総務企画委員会協議会にて、第6次総合計画の策定に係る報告を行い、議会の意見も確認したうえで、その後の作業については、「(仮称)第6次総合計画及び次期和泉創発プラン策定委員会」を立ち上げ、策定作業を進めていきたい。

※両副市長、教育長、参与、関係部長で構成

## 第6次総合計画策定にかかる体系



### ①策定委員会

- ・ 公約反映前のたたき台、公約反映した骨子案、議会意見を反映した素案の検討
- ・ 審議会、パブコメ意見への対応整理 ・ 最終案のまとめ など

### ②総合計画審議会

- ・ 市で諮問する案について、意見を求める。

### ③議会

以下の3つの機会に意見を聴取するものとする。

- ・ 総合計画の諮問に先立ち、協議会報告にて意見を聴取。
- ・ 総合計画審議会委員に5名（正副議長、各委員長）任命し、意見を聴取。
- ・ パブコメ後の最終案について協議会報告にて意見を聴取。



意見聴取の内容と事務の流れ (外部有識者への意見聴取に係る分のみを抜粋)

